

2023年(令和5年)3月31日(金曜日)



船井電機 持ち株会社に移行

船井電機は、きょう31日から、持ち株会社体制に移行する。持ち株会社の社名は「船井電機・ホールディングス」。

まず傘下に現行の船井電機が事業会社として配置、経営と執行を分離して経営スピードを速め、同グループの持続的成長、さらなる事業発展を図っていく。

船井電機は、2021年8月に非上場化し、液晶テレビを中心とするAV事業依存型から、事業の多角化を図ることで、よりグループ全体の収益性を高めることによる企業価値の向上に取り組んでいる。

グループの相乗効果発揮

経営スピード加速、事業構造変革

「しかし現在、中国製のテレビが市場に急速に台頭してきているなど、極めて厳しい経営環境にさらされている。船井電機は創業以来、高品質なデジタル家電をリーズナブルな価格で市場に投入、さらに主力事業である液

晶テレビなどで早くから北米などのグローバル市場を開拓してきた。社会構造までも大きく変化している」(上田社長)。

「非上場化のメリットを生かしたスピードを意図した決定を進め、同業種にこだわらず、有力企業の買収・業務提携も推進し、事業構造の変革を急ぐ。2015年には情報系の出版事業を手掛ける秀和システムの代表取締役会長、16年11月に同社代表取締役会長に就任した。2015年には情報系の出版事業を手掛ける秀和システムの代表取締役会長、16年11月に同社代表取締役会長に就任した。



上田 社長

「お客さまのニーズ、要望を常に把握するマーケティング力・開発力を強化するとともに、新規ビジネスの立ち上げていく。」

「お客さまのニーズ、要望を常に把握するマーケティング力・開発力を強化するとともに、新規ビジネスの立ち上げていく。」(上田社長) 方針だ。をリードしていく。